

# 「中海フルーツパーク」 米子水鳥公園横に開園

## 石田コーポレーション

### 日本政策投資銀行共同

米子市米原に本部を置く石田コーポレーション(石田康雄社長)は7日、同社を中心とした15年設立の農業関連法人「富ますシルクファーム」に対し、財務省所管の特殊会社・日本政策投資銀行(以下、DBJ=東京都千代田区渡辺一社長)との共同出資を実施したことを公表した。

富ますシルクファームが事業主体となり、米子市彦名新田の耕作放棄地を再生利用し計画中の農業レジャー施設「中海フルーツパーク」開園資金として、両社はそれぞれ500万円を出資した。

総事業費は1億円前後を想定しており、今後2カ年で現行農業施設の倍となる12棟まで拡充を見込む。

年齢・性別・国籍にとらわれない人材戦略である「ユニバーサル就労」、またケイズ(米子市両三柳、松本啓社長)との連携で進める栽培管理へのICT導入といった独自の取り組みが評価され、DBJが定める

主力商品のいちごを手に記念撮影する石田社長(=中央右)ら



「特定投資業務」に採択、今回の共同出資に至った。要件として▽経営資源の有効活用▽革新的な経営(新事業開拓・異分野連携)▽生産性・収益性の向上を満たす事業に対しリスクマネー供給を強化する取り組みで、山陰では初の認定。今後DBJは株主として経営に参画し、同社100%子会社シンクタンクの日本経済研究所によるデータ分析などを用いて販路を拡大、体験型インバウンド需要の掘り起こしを軸に事業展開をサポートする。

石田社長は「点在する県西部の観光資源を一本

の線で繋ぎ、ストーリーを持った観光ルートを作り上げたい。事業を成功に導くため全力投球する」と決意を述べた。「星取県」のキャッチフレーズに掛けて、星と見立てた観光資源を繋げることで

「価値星座(バリューコンステレーション)」を描き、大きな1つの価値を創出する狙い。第一歩となる「中海フルーツパーク」は9日に開園、5月中旬までいちご狩りが楽しめる。